



# 花壇用 自動水やりセット

## 取扱施工説明書

施工・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。  
この取扱施工説明書は、灌水コンピューター(凍結防止機能つき)の「取扱施工説明書」、  
「コンピューター設定説明書」とあわせてご使用ください。

このたびは、花壇用自動水やりセットをお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

### 安全上のご注意

施工・使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

**注意** 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害が発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

**必ず実行** 必ず実行していただく「強制」を示します。

**禁止** してはいけない「禁止」を示します。

**注意** 気をつけていただきたい「注意」を示します。

### 使用上のご注意

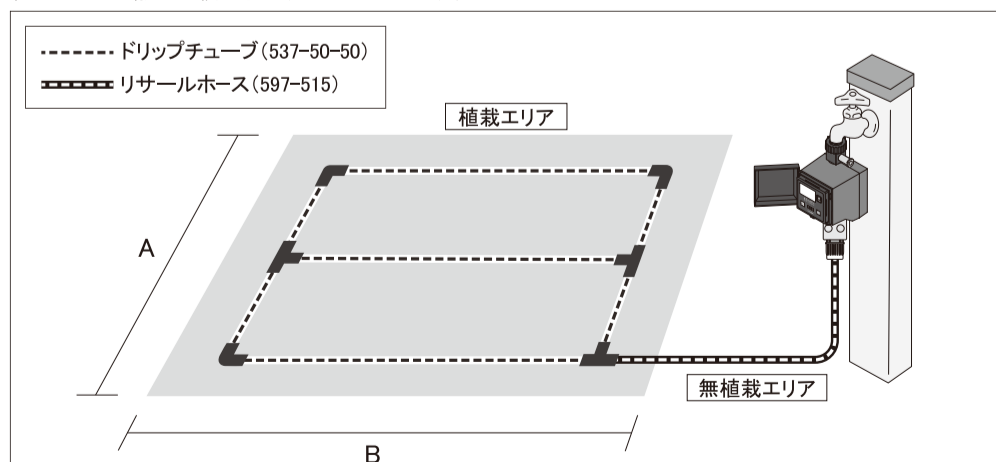
<b>必ず実行</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●灌水コンピューターに同梱されている取扱施工説明書、設定説明書を必ずお読みください。</li> <li>●冬期は灌水コンピューターからリサールホースを取外し、リサールホース、ドリップチューブ内の水抜きを行ってください。また、灌水コンピューターについては同梱の取扱施工説明書をお読みのうえ、必要な処置を行ってください。</li> </ul>
<b>禁止</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本製品は屋外設置型です。屋内には絶対に設置しないでください。</li> <li>●本製品にものをのせたり、過度の荷重をかけたりしないでください。破損する恐れがあります。</li> </ul>
<b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●植物を傷める恐れがありますので、日差しの強いときには水やりを避け、早朝か夕方に行ってください。(リサールホース)</li> <li>●本製品を折り曲げたり、ねじ曲げた状態で使用しないでください。</li> <li>●本製品を無理に引っ張ったり、引きずったりしないでください。破損する恐れがあります。(ドリップチューブ)</li> <li>●本製品は地表面設置用です。(埋設はできません。)</li> <li>●使用水圧が高い場合は本製品が破損する恐れがあります。水圧0.05~0.30MPa以内でご使用ください。</li> <li>●本製品を折り曲げたり、ねじ曲げた状態で使用しないでください。</li> <li>●本製品を無理に引っ張ったり、引きずったりしないでください。破損する恐れがあります。</li> <li>●本製品の切断は正しい位置で行ってください。(散水孔から10cm以上離れた位置で切断してください。)</li> <li>●本製品は必ず垂直に切断してください。</li> <li>●本製品は接手の端末まできちんと挿入してください。抜けや漏水の恐れがあります。</li> </ul>

### ドリップチューブの仕様

使用流体	水(上水道水)
使用水圧	0.05~0.30MPa
流量 / 穴	2L/時(0.033L/分・定流量)
1m当りの流量	0.11L/分
サイズ	内径16ミリ×外径18ミリ
穴ピッチ	300ミリ
材質	ポリエチレン

### 灌水範囲

約30㎡までの敷地面積に灌水することができます。

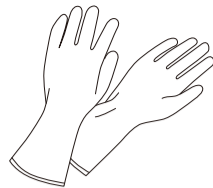


A	B	ライン数(*)	A	B	ライン数(*)
1m	25.0m まで	2本	4m	8.0m まで	6本
2m	16.5m まで	3本	5m	6.0m まで	8本
3m	12.0m まで	4本			

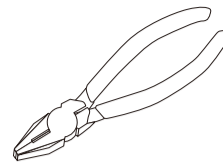
\*上図のライン数は3本です。

## 施工に必要な工具

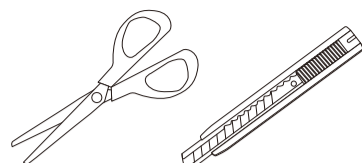
●ゴム手袋



●ペンチ



●はさみ(またはカッターナイフ)

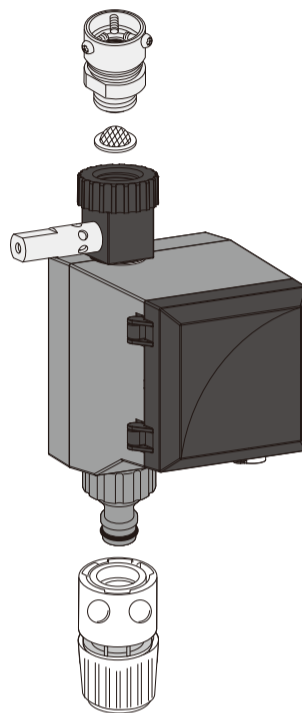


## 製品同梱明細

■施工される際は、この取扱施工説明書の製品同梱明細で各部材をご確認ください。

① 灌水コンピューター(502-320)  
灌水コンピューターの製品同梱明細は、灌水コンピューターの取扱施工説明書をご確認ください。

同梱明細		個数
①	502-320 灌水コンピューター	1
②	573-50-50 ドリップチューブ	1
③	597-515 リサールホース(5m)	1
④	054-002 エルボ	10
⑤	054-003 チーズ	13
⑥	054-004 ソケット	2
⑦	054-005 プラグ	2
⑧	054-006 アダプター	2
⑨	専用部品 45°エルボ	2
⑩	専用部品 135°エルボ	2
⑪	専用部品 Uターン継手	2
⑫	573-501 クリップバンド	40
⑬	573-502 クリップバンド	4
⑭	575-571 固定金具	25



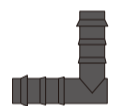
② ドリップチューブ (573-50-50)



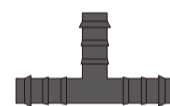
③ リサールホース(5m) (597-515)



④ エルボ(054-002) 90°に曲げる際に使用します。



⑤ チーズ(054-003) 分岐する際に使用します。



⑥ ソケット(054-004) 接続する際に使用します。



⑦ プラグ(054-005) ドリップチューブの先端を止水する際に使用します。



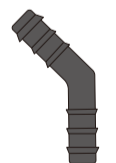
⑧ アダプター(054-006) 塩ビパイプなどを使用して、別途配管を行う場合の接続に使用します。



⑨ 45°エルボ(専用部品) 45°に曲げる際に使用します。



⑩ 135°エルボ(専用部品) 135°に曲げる際に使用します。



⑪ Uターン継手(専用部品) Uターンさせる際に使用します。



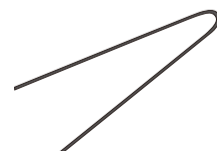
⑫ クリップバンド(小)(573-501) ドリップチューブと継手を接続する際に使用します。



⑬ クリップバンド(大)(573-502) リサールホースと継手を接続する際に使用します。



⑭ 固定金具(575-571) ドリップチューブを土壌面に固定する際に使用します。

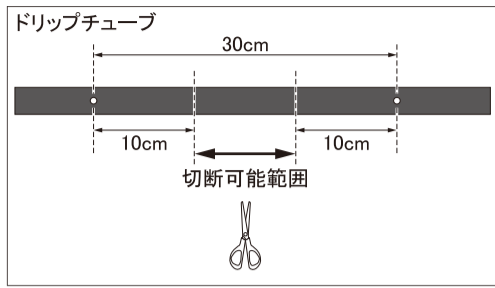


# 取付方法

## 1. 灌水コンピューターを水栓に取り付けます。

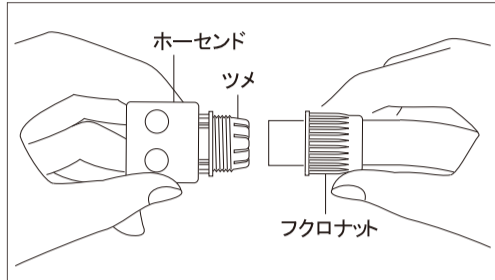
\* 灌水コンピューターの取扱施工説明書を参考に取付けてください。

## 2. リサールホース、ドリップチューブを切断します。

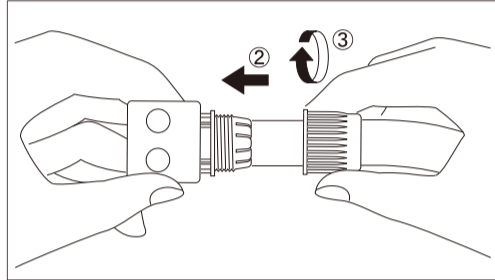


リサールホースは無植栽エリアの必要な長さに合わせて、ドリップチューブは花壇の大きさに合わせて、はさみやカッターナイフで切断します。  
\*ドリップチューブは、30cm間隔で穴があいています。切断は、左図を参考に必ず穴位置から10cm以上離れた位置で行ってください。

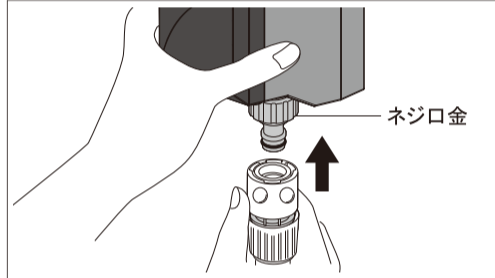
## 3. 灌水コンピューターとリサールホースを接続します。



① 灌水コンピューター付属のホーセンドを、ホースに取り付けます。まず、ホーセンドからフクロナットを外し、ホースをフクロナットに通します。

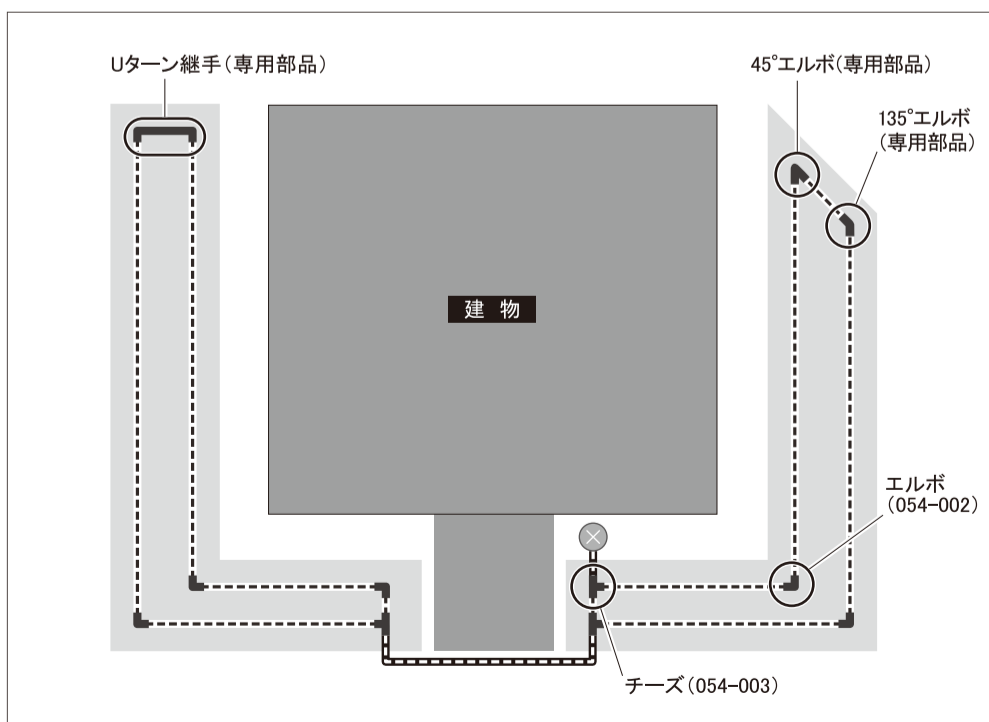
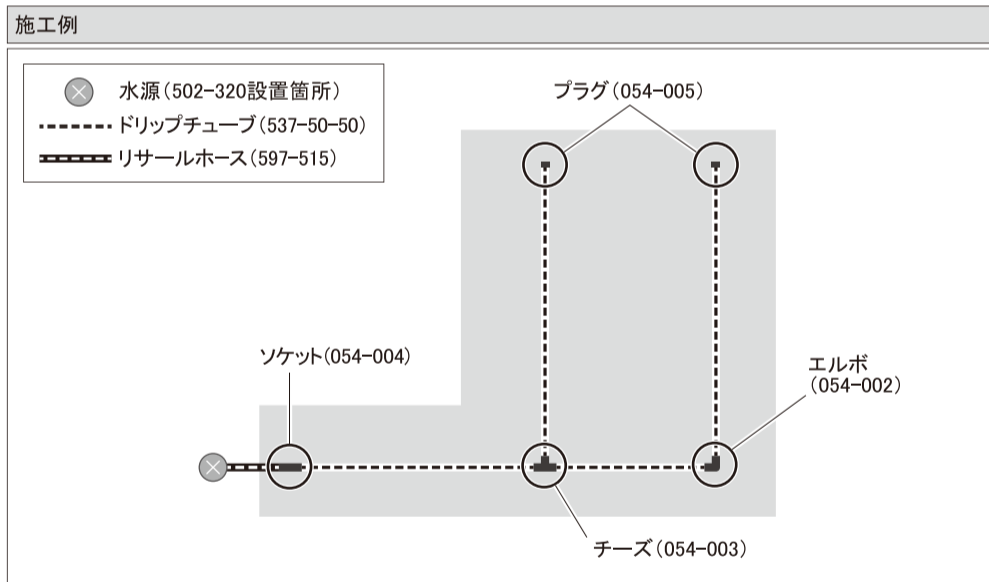


② ホースをホーセンド本体のツメに深く差込みます。  
\*ホースが入りにくい場合はツメを少し広げてください。  
③ フクロナットを締めます。



④ 灌水コンピューター下部のネジロ金にホーセンドを接続します。ホーセンドのスライド部を持ち、「パチッ」と音がするまで差込みます。

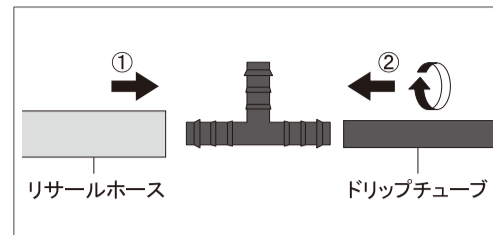
## 4. 灌水範囲に合わせて仮置きします。



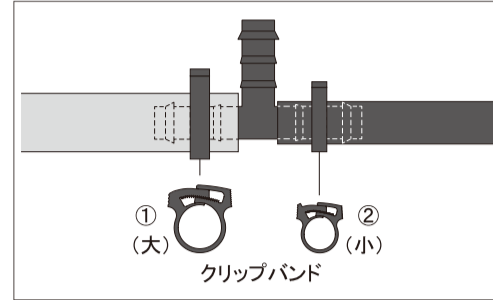
\* 花壇が2ヵ所に分かれている場合は、リサールホースで花壇の間を接続してください。

# 取付方法(つづき)

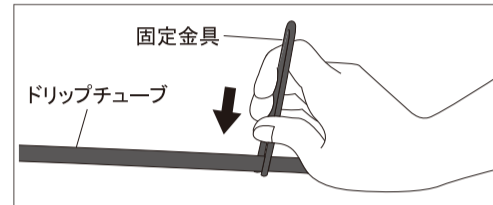
## 5. リサールホースとドリップチューブを接続します。



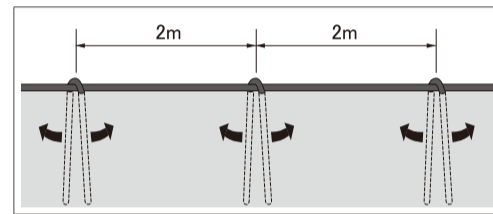
① ゴム手袋をして、リサールホースに付属の接手のいずれかを差込み、クリップバンド(大)で締付けてしっかりと固定します。  
② 接手にドリップチューブをねじりながら差込み、クリップバンド(小)で締付けてしっかりと固定します。  
③ 同様に、ドリップチューブ同士を接手とクリップバンドで接続します。  
\*クリップバンドはペンチなどで増締めをしてください。  
\*接続の際に、ドリップチューブを温めないでください。



## 6. ドリップチューブを土壌面に固定します。



固定金具でドリップチューブを土壌面に固定します。固定金具は左図のように握り込んだ状態で地面に固定します。固定金具が元に戻ろうとする反発を利用することで、地面にしっかりと固定できます。  
\*固定金具は目安として約2m間隔で取付けます。



# 施工後の確認

水栓のハンドルを開き、灌水コンピューターを手動水やりモードにして、各部に漏水がないかを確認します。  
\*別紙灌水コンピューター(凍結防止機能つき)のコンピューター設定説明書「その他の機能 ■手動で水やりをする(自動水やり設定時刻以外に水やりをしたいとき)」をご参照ください。  
漏水が発見された場合は、水栓のハンドルを閉め、漏水する箇所を施工し直してください。